

## 議事録

|     |   |
|-----|---|
| 会議名 | 第4回老岐市総合計画審議会   |
| 日時  | 令和6年9月27日13時30分～15時00分  |
| 場所  | 芦辺町クオリティライフセンターつばさ イベントホール  |
| 参加者 | 別紙のとおり（※欠席者は本文中に記載）   |
| 内容  | <p>1. 開会</p> <ul style="list-style-type: none"><li>一般の傍聴並びに報道機関の取材及び撮影について了承を得た。</li></ul> <p>2. 会長挨拶</p> <p><b>会長</b></p> <p>本日は、第4回老岐市総合計画審議会を開催いたしましたところ、大変お忙しい中ご出席賜りありがとうございます。</p> <p>これまでに3回の審議会を開催し、人口動態や地域経済分析、市民アンケートをはじめとする各種アンケート調査の結果等をふまえ、本市の目指す姿やまちづくりの方向性、特に力を入れていく分野などについて、委員皆様より活発なご意見をいただきました。</p> <p>また、その間、3回のコアメンバー会議も開催されており、6名のコアメンバー委員の皆様にご参加いただき、よりきめ細やかな議論を重ねていただいたところでございます。</p> <p>こうした経過を経て、計画の素案ができておりますので、本日は皆様にその内容についてご審議いただきます。委員皆様には、各分野から忌憚のないご意見をよろしくお願い申し上げます。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>事務局より、欠席者の報告</li></ul> <p><b>【欠席】</b>大久保(照)委員、久原委員、川上委員、市山委員、初川委員、田口委員、高田委員</p> <p>3. 協議事項</p> <p>(1)第4次老岐市総合計画(素案)について</p> <p>事務局より資料の説明</p> <p>○質疑応答</p> <p><b>会長</b></p> <p>KPIの部分について農業生産額が51億となっている。漁業も一緒だがこれは恐らく農協の販売額ではないかと思う。そういう捉え方で良いのか。この数値は全体ではないと思う。通常、生産額といった場合は自家消費まで含んだものを生産額として捉えることが多いと思うがこれは1つの組織の販売高ではないかと思う。</p> <p><b>事務局</b></p> <p>この数字については農林課の確認を取ったものであり、農協の第9次営農振興計画から持ってきた数字である。市としても農協の第9次営農振興計画は市の計画でもあるという位置付けにもなっているので、こちらから採用した。</p> |

会長

数字見ますとそうなっているので、それで了解ということであれば良いが、現に実際の生産額はまだ沢山ある。これは販売額ではないかと思う。

事務局

例えばその全体的な数値がわかるものはあるか。指標的に使えるものがあれば採用したい。

会長

農業生産額というのは行政の方ではよく使うと思う。これは農家の皆さんが販売した分だけだという考え方で良しとすればそれで良いのでは。漁業も一緒だと思う。

委員A

先ほどの農協の数字とも関係するのだが、誰がどのように決めてきたかということ、これから誰がどのように決めてくのかということが今見えなくなっているので、整理をしていただきたい。

第4回になるのですが、市長の要望を初めて出されているが、この素案の部分が私たちが責任を持つというふうに捉えてよいか。私自身分野別計画は責任が持てないようなところもあって、どこまで責任を持つ必要があるのか。どの部分がパブリックコメントになるのか。

事務局

委員の皆さまに責任を持ってもらうといいですか協議を頂きたいのは素案の部分です。分野別計画は各課の施策をまとめたものです。あくまで市の事務事業的な位置付けにもなりますので、一応こちらの分野別まちづくり計画につきましては、市の方が責任持ってこの事業をやっていくというようなものになります。皆さまには、この第4次期総合計画の基本戦略の部分についてのご意見等をいただければと思います。

委員A

ありがとうございます。はい、スッキリしました。そういう中で、この20ページの目標値についてはそれぞれの職種の方から上がってきたものという認識でよろしいか。

事務局

分野別まちづくり計画の中の政策目標に掲げてるKPIが、こちらの各基本目標のKPIに入っているものでございます。こちらの基本目標の中のKPI、これが政策のKPI、つまり大元になりますので、ここについてもこういったKPIではこの事業としてちょっとおかしくないでしょうかとか、そういったものがあれば、ぜひご意見いただきたいと思っております。

会長

2 ページについて、農業の方では生産額とあるが、生産額となると、この 51 という数字は若干違うと思う。生産額と販売額は違う。言葉の整理を行ってほしい。漁獲高もちょっと違うような気がする。5 つの漁協の販売高ではないかと思います。

#### 委員B

私は、この素案は第 3 次と比べると、非常に見やすく良い計画だと思う。4 ページに、ワクワク稼げる、いきいき長生き、のびのび学べるとある。新市長になって、若さを感じる非常に良い計画だと思う。20 ページくらいで良いと思う。専門的な部分については、市役所の所管課で毎年 PDCA を回してしっかりやってもらえば良い。これまでにない良い計画だと思う。

長崎は離島が多い。離島であるがゆえに就職などいろいろ難しいところがあるが、しかし現状の経済環境の中では、最低賃金もあがるが、それを支払う原資が島内では厳しい。物価もあがる中、経営者も苦勞している。

この計画を実現するためには、賃金体系をどう改善していくかが必要であると思います。

#### 会長

私も第一印象として見やすいと思います。皆さんに見てもらわないと意味がないので。

#### 委員C

コアメンバーとして参加してきたが、意見を集約してくれてありがたい。

非常に見やすく、イラストを多用しているが、イラストの統一感がない。いろんなサイトを使っていると思うが、統一感を持たせてほしい。

#### 事務局

ご指摘のとおりです。現状はフリー素材を使っている。最終的にはイラストを書き直す。壱岐らしさを感じるものとしたいので、よろしくお願いします。

#### 委員C

KPI のところ。目標が令和 11 年度になっているが、この間の単年度の目標を積み上げた数字なのか。

#### 事務局

基準年と目標年のそれぞれの数値のみで、途中の数値は出していないが、出すことは可能。実績については毎年把握し、進捗管理をしっかりやっていく。

#### 委員B

途中の数字まで見せなくて良いのでは。

#### 委員C

毎年、目標に向かって進んでいるということが分かるように、検証をしっかりやってほしい。

**委員D**

細かいところは事前に文書で出しているの確認してほしい。

2050年人口2万人のところ、例えば、毎年の出生数が何人で、自然減がこれくらいになって、社会増としては移住者がこれくらいになったら、2万人を維持できるというような数値の根拠をできれば示して欲しい。

また、関係人口を数字化できないか。例えば年に一回壱岐を訪れる人が何人とか、ある程度数値化しないと、ただ単に増やすというだけではなかなか見えづらい。

文書にも書いたが、基本目標2の表現がわかりにくいので、変更してほしい。

**事務局**

人口についてはシミュレーションを行っている。第2回審議会に出したが、今の水準のUIターン数では2万人は達成できない。本誌に載せるかどうかは別として具体的に示すことは可能と思う。

関係人口については、担当課とともに検討したい。他の自治体ではふるさと納税の寄附者数であったり、大都市圏で定期的にアンケートを取って認知度がどれくらいあるかということに関係人口の指標としているところもある。引き続き検討していきたい。

目標2の表現については、検討したい。

**委員A**

この後どのように進んでいくのか教えて欲しい。

**事務局**

この審議会の後、パブリックコメントを行う。期間は30日間。そこで出た意見を元に事務局で集約し変更するかどうかの判断をする。その後、審議会でも再度検討し、市長に答申したい。それで一旦の協議は終了となる。

**委員A**

それぞれの計画が各課で作られていると思うが、それとの関係は？

**事務局**

総合計画が市の最上位計画となる。この総合計画の方針にそって各課の個別計画は作られることになる。

**委員A**

そうするとこの分野別まちづくり計画が、個別計画の前に作られるようになるのか。

**事務局**

分野別計画は別冊となる。そこと並列で各課の計画がぶら下がってくることになる。

**委員A**

ねじれが出てくると問題があると思う。

**事務局**

市の内部でも企画総合調整会議というものがあり調整をしている。今時点では同時並行で進んでいることになっている。

**会長**

今後、パブリックコメントを経て審議会ですべて再度議論することになるとのこと。

**委員B**

4ページ、2050年人口2万人となるが、福祉部の第9期の高齢者福祉計画では2050年1万7千人となっている。パブリックコメントを出した時にそれを見た人がどうかと思う。内部の調整をもう一度行い、違和感のないものにしてもらいたい。

**事務局**

人口推計と人口ビジョンの捉え方が違うが、各課と調整したいと思う。

**委員A**

一つは4ページの2万人を下回った時の未来があるが、もう少しそのイメージを実感できるようにしてほしい。また、2万人の根拠を示して欲しい。他の自治体でも起きていることとか参考になるようなものがあると良いと思う。

もう一つ、全体はすごく見やすいが、しっくりこないところがある。2万人の時の壱岐の状態がイメージできれば良いと思った。その2万人の時の社会のイメージが見えない。これは別のところで出てくるのか。

**事務局**

1ページを見て欲しい。何故2万人かという、国土交通白書の中に生活必需サービス施設、病院や商店など。これの存続が50%以下になるラインを示している。これらを総合的に見て2万人を設定した。2万人を下回るどころのイメージは再度見直す。

2050年2万人を達成した姿は、20ページの基本目標のところ示している。タイトルの下イラストとコメントが2万人のまちの姿を描いている。未来的な表現としている。

**委員A**

23ページの高校生の表現について。高校生は確かに島から出ないようにしていきたいが、島に留まるようにというよりも、沢山の選択肢がある、選べる、その検討の結果、島に居るということ表現の方がよくないか。その子の一生を考えた時に選択肢があると思う。出て戻りたくなる社会が重要だと思う。

**事務局**

重要な意見と思う。選択が出来ることが重要と思うので、表現を含め見直しを検討したいと思う。

(2)パブリックコメントについて

**事務局**

本日の審議会を受けて、素案の再修正を行い、早期にパブリックコメントを実施したい。期間は30日間、閲覧場所は、市役所各庁舎(支所、事務所)、市ホームページとする。市民への周知は、各戸への回覧、市公式 LINE でのお知らせを予定している。

**委員B**

回覧をまわすのは大事だが、どれくらいの人が見ているだろうか。11ch(ケーブルテレビ)の方が見ている人が多いのでは。市は、11chの活用の仕方を考えるべき。今、職員の方の説明は堅く一生懸命やっていて、私にとっては見やすくよく分かるが、一般の人には堅すぎると思われる。例えば漫画化してでも良いので、市民の方に分かりやすい方法で周知をお願いしたい。

**事務局**

市民の方に理解していただく、伝える、伝わるということは非常に大事な事なので、工夫をしてやっていきたい。

**委員D**

表の中の文字が小さいので、見やすいようなサイズでなるべくお願いしたい。

(3)その他

**事務局**

次回、第5回の審議会は11月(パブリックコメント後)に行う。日程はあらためて連絡する。

**委員A**

最後に1点だけ、素案について。人口減少に関する労働人口について、今どこも人手不足と言われ、これからもっと進行すると考えられる中、外国人労働者に関することも入れておいた方が良いのではないか。

**会長**

非常に大事な事なので検討をお願いします。

4. 閉会

**事務局**

|  |  |
|--|--|
|  | <p>本日は慎重審議ありがとうございました。今後も引き続きご協力の程よろしくお願ひいたします。</p> <p>以上で第4回審議会を終了させていただきます。本日は誠にありがとうございました。</p> |
|--|--|